

足利学校の歴史



足利学校の創建については、奈良時代の国学の遺制説、平安時代の小野篁説、鎌倉時代の足利義兼説などがありますが、歴史が明らかになるのは、上杉憲実（室町時代）が、現在国宝に指定されている書籍等を寄進し、**席主（学長）**制度を設けるなどして学校を再興したところからです。

鎌倉建長寺の住持、玉隠永瓊は、長亨元（1487）年の詩文の中で「足利の学校には諸國から学徒が集まり学問に励み、それに感化されて、野山に働く人々も漢詩を口ずさみつつ仕事にいそしみ、足利はまことに風雅の一都会である」と讚美しています。

また天文18（1549）年には、フランシスコ・ザビエルにより「坂東の学院（アカデミア）あり。日本国中最も大にして最も有名なり。」とヨーロッパへ伝えられ、「学徒三千」といわれるほどになりました。明治元（1868）年には、足利藩の藩校「求道館」が置かれ、明治5（1872）年に幕をおろしましたが、足利学校の精神は現在に引き継がれています。昭和57（1982）年に「史跡足利学校跡保存整備事業」に着手し、平成2（1990）年に江戸中期の姿に甦りました。そして、平成27（2015）年に「近世日本の教育遺産群-学ぶ心・礼節の本源-」として日本遺産に認定されました。

会場（生涯学習センター・地場産センター）のご案内

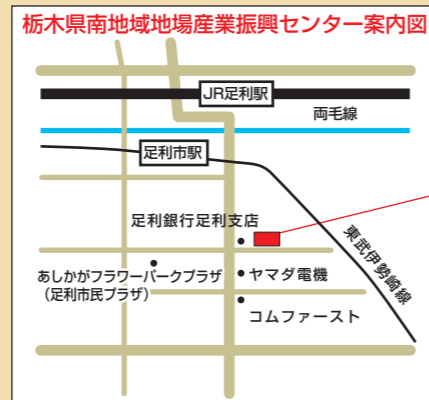
交通機関

●生涯学習センター

- 電 車／東武伊勢崎線 足利市駅から徒歩約25分
- JR両毛線 足利駅から徒歩約10分
- 車／東北自動車道 佐野藤岡ICから約40分
- 北関東自動車道 足利ICから約15分、太田桐生ICから約20分

●栃木県南地域地場産業振興センター

- 電 車／東武伊勢崎線 足利市駅から徒歩約12分
- JR両毛線 足利駅から徒歩約15分
- 車／東北自動車道 佐野藤岡ICから約30分
- 北関東自動車道 足利ICから約30分、太田桐生ICから約20分



栃木県南地域
地場産業振興センター

日本最古の学校 国指定史跡足利学校

今よみがえる“坂東のアカデミア”

Academia in Bandou

令和6年度

足利学校アカデミー

受講案内



足利学校は世界遺産登録を目指しています!

足利市教育委員会

令和6年度足利学校アカデミー受講案内

◎日程と内容

回	演題・講師	期日	講義概要
1	演題 釈尊の成道と説法の始まり 東京大学名誉教授 丸井 浩 先生	6月15日 (土)	釈尊は何を覚られ、そしてどのように教えを説き始められたのか？この仏教の根本問題に迫るために、釈尊の成道から初転法輪までのストーリーを、釈尊の伝記相当の資料によりつつ、皆さんと共に考えたいと思います。
2	演題 仏教と人類その真髄を求めて 中村元記念館 東洋思想文化研究所副所長 釈 悟震 先生	6月16日 (日)	今日我々人類を取り巻く地球上には数多くの難題の中でも異文化間の悲惨な争い、貧富の格差による不平等、科学の進歩による生命倫理及び自然環境の問題など数え切れない。そこで仏教の創始者ブッダは我々人類に何を伝え求めたのかを、論究しようとも終わりのない形而上学的なものではなく、より人間性豊かな今を生きる叡智の真髄を求めたい。
3	演題 源氏絵を読み解く 國華主幹 佐野 みどり 先生	6月22日 (土)	『源氏物語』を題材とする美術工芸を<源氏絵>と呼びますが、12世紀の「国宝源氏物語絵巻」(徳川美術館・五島美術館)以来、様々な形式の作品が生まれ、大切に伝えられてきました。とりわけ桃山時代から江戸時代前期にかけて、源氏絵の制作は質・量ともにピークを迎えます。講座では、この時代(16世紀から17世紀前半)に焦点をあて、多様で豊かな近世源氏絵の魅力を読み解いていきたいと思ひます。
4	演題 足利権崎寺と運慶 一二月の大日如来像一 鎌倉国宝館長/半蔵門ミュージアム館長 山本 勉 先生	6月23日 (日)	東京・半蔵門ミュージアムと足利市・光得寺の2体の大日如来像は、いずれも足利・権崎寺に伝来した仏像で、鎌倉彫刻を築いた著名な仏師運慶の作と考えられる。2像をめぐる研究の経緯と研究史上の意義について語る。
5	演題 「和漢梵」がおりなす日本の知 上智大学文学部特任教授 西岡 芳文 先生	6月29日 (土)	日本の知的伝統は「和漢」という対比で論じられることが多いのですが、仏教をあらわす「梵」の世界を加えなければ日本文化の全体像は見えてきません。日本・中国・天竺という三国史観をベースに展開してきた中世の知のあり方を考えてみましょう。

◆史跡足利学校庠主記念講演◆

【日時】 令和6年6月30日(日) 午後1時30分～午後3時30分

【会場】 栃木県南地域地場産業振興センター 大ホール

6	演題 根津嘉一郎・足利・東武鉄道 史跡足利学校庠主 五味 文彦	6月30日 (日)	東武鉄道を経営した根津の生涯を追跡するなか、足利との深い関わりについて考えるとともに、根津が果たした役割を考える。東武鉄道をいかに成長させたのか、根津美術館はいかに生まれたのか、故郷に何を残したのか、見てゆくことにする。
---	--	--------------	--

◎講義時間：午前10時00分～正午

※6月30日(日)のみ午後1時30分～午後3時30分

◎会場：足利市生涯学習センター 302会議室

※6月30日(日)のみ栃木県南地域地場産業振興センター 大ホール

室町時代、宣教師フランシスコ・ザビエルが「坂東のアカデミア」として、ヨーロッパへと伝えた「日本最古の学校一國指定史跡足利学校」。生涯学習の時代、足利市では教育の原点とも言えるその歴史を今に生かすため、現代に甦る足利学校として、大学教授など各界を代表する先生方を講師としてお招きして「足利学校アカデミー」を開催しております。

本年度も著名な先生方の講演を通して、様々な視点から史跡足利学校の魅力・価値を知っていただける講座内容となっておりますので、ぜひお申し込みください。



申込方法

- 申込期間 令和6年5月17日(金)午前9時から6月7日(金)まで(但し、定員になり次第締切り)
- 対象者・定員 高校生以上 各回100名
- 受講料 1回 1,000円(史跡足利学校の維持管理に活用させていただきます)
- 受講料納付方法 申し込み後に下記A～Cの方法により納付
 - A 直接、史跡足利学校事務所へ持参
 - B 銀行からのお振込み
 - 店番号 ○一九(ゼロイチキュー)店(019)
 - 預金種目 当座
 - 口座番号 0608415
 - 口座名称 史跡足利学校(シセキアシカガガッコウ)
 - C 郵便局・郵便口座からのお振込み
 - 口座記号番号 00170-2-608415
 - 口座名称 史跡足利学校(シセキアシカガガッコウ)

《申し込み・問い合わせ先》

史跡足利学校事務所 〒326-0813 栃木県足利市昌平町2338

TEL 0284-41-2661 FAX 0284-41-2082

E-mail gakkou@city.ashikaga.lg.jp

申込方法 電話または足利市オンライン申請システム

※足利市オンライン申請システムによる申込については、同システムの利用者登録が必要となります。

詳細については、右記二次元コードをお読み取りください。



《講義会場》

○足利市生涯学習センター 足利市相生町1-1(6月30日を除く)

○栃木県南地域地場産業振興センター 足利市田中町32-11(6月30日のみ)

駐車場は、無料 *裏面案内図をご参照ください。